

総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【12月号】

イベント名	スポーツカーニバル in さんようおのだ2015	訪問日	11月21日	訪問者	宮田・中村・岡村
内容詳細	<p>長南地区総合型地域スポーツクラブ連合会（すげえちゃ・高泊、出会いちょうクラブ・NPO法人コミュニティスポーツクラブくすのき・NPO法人Goppoええぞなクラブ・NPO法人おもしろファーム）が主催となり、県立おのだサッカー交流公園と山陽小野田市民体育館にて「総合型地域スポーツクラブ交流大会スポーツカーニバルinさんようおのだ2015」が開催されました。はじめに、2会場にわかれ開会式が行われ、競技種目として、グラウンドゴルフ、8人制サッカー、ソフトバレーボール、卓球、カローリングがあり、体験種目として、ランニングバイク、ニュースポーツが実施されました。また、講習会には、中部学院大学子ども学部子ども学科准教授の平井博史先生と日本コーディネーショントレーニング協会認定指導者の中田徹先生をお招きし、コーディネーショントレーニングを行いました。当日は、天候にも恵まれ、500人を超える参加者がそれぞれの競技や体験、講習会を楽しまれていました。今回、総合型クラブの方だけでなく、一般の方も多く参加されており、総合型クラブのことを広く知っていただけたと思います。</p> <p>この交流大会は、山口県連絡協議会の主催事業として来年度以降も各地域において、継続的に開催することが決定しています。来年度の開催地は未定ですが、県内の様々な地域で行うことにより、今まで参加することができなかったクラブにも参加していただけるのではないかと思います。このようなイベントを通して、クラブ間の連携や交流をさらに深めていければと考えています。また、この交流大会が回を重ねるごとに、よりよいものとなることを期待しています。</p> <p>長南地区総合型地域スポーツクラブ連合会をはじめ、イベントに携わった方々、本当にお疲れさまでした。</p>				



☆レッツ！オリ・パラ☆

近年、日本の女性アスリートの活躍は目覚ましく、夏季五輪の男女のメダル数を比較すると、1996年のアトランタ五輪では同数、2000年シドニー五輪では男子のメダル数を上回る結果となっています。

そんな中、出産後メダリストになった選手が4名います。東京五輪・新体操団体の池田敬子さん、小野清子さん、北京五輪・柔道の谷亮子さん、ロンドン五輪・バレーボールの大友愛さんです。

現在、日本でもママさんアスリートとして活躍している選手をメディア等で見かけることも多くなりました。しかし、諸外国と比べ日本の育児と競技を両立できる環境は整っているとは言いがたく、多くの女性アスリートは出産後の現役復帰を諦めてしまうのが現実のようです。

今後、ママさんアスリートはじめとした女性スポーツ選手の実環境改善は、競技スポーツだけでなく生涯スポーツ推進という観点からも必要になってくると思われます。

2020年東京五輪のビジョンである「スポーツには世界と未来を変える力がある」にあるように、未来に向かって女性スポーツ環境も変わっていくはずです。（※2015.6.15朝日新聞一部引用）

2020年
東京オリンピックまで

1674日

※平成27年12月24日現在